

日本機械学会エンジンシステム部門 A-TS 07-48

第 17 回北信越エンジンシステム研究会

開催日： 2016 年 8 月 30 日 (火)

開催場所：金沢大学 角間キャンパス 自然研 3 号館 7 階会議室

(〒920-1192 金沢市角間町 1)

参加費用：講演会 無料

議事内容：

[1] バイオマスガス化装置の見学 10:00～10:30

[2] 話題提供 10:30～12:00

1) 「遺伝的アルゴリズムおよびニューラルネットワークによるターボチャージャーの多目的最適化設計」

講師 坂口 大作 (長崎大)

ターボチャージャーの設計に必要な形状パラメータを遺伝的アルゴリズム (GA) と人工神経回路網 (ANN) により最適化設計する研究について、システム構築の概要と実際のケーシング形状の最適化を交えて話題を提供していただいた。

2) 「エンジンシステム制御開発とガスエンジンシステムの特徴」

講師 長沼 要 (金沢工大)

エンジン制御と後処理の適用による排出ガスの低減最適化についてはじめに ICCT レポートの結果を基に、排出ガスの不正事件を解説した。次に天然ガスを用いた SI エンジンシステムの特徴を説明し、この制御による性能の最適化について解説した。

3) 「木質バイオマス由来シingasによる内燃機関稼働時の熱勘定」

講師 榎本 啓士 (金沢大)

木質バイオマス由来シingasを用いた内燃機関の小型発電システムの概要を説明し、内燃機関による小型発電システム稼働時におけるシingasの組成と熱勘定について解説した。

<講演会>

出席者： 学生 9 名， 一般 4 名 (講演者 3 名含む)